

管 理 の 概 要

1 公益財団法人 光市文化振興財団

(1) 理事会

ア 第1回定時理事会

日時 令和4年5月10日(火) 13時30分～15時30分
場所 光市文化センター 1階研修会議室
議事 令和3年度事業報告及び計算書類の承認、監査報告
令和4年度定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項
令和4年度収支補正予算(第1回)(案)について

イ 第1回臨時理事会

日時 令和4年5月26日(木) 15時30分～15時40分
場所 光市民ホール 2階大会議室
議事 常務理事の選定について

ウ 第2回臨時理事会

日時 令和4年9月27日(火) 10時00分～11時00分
場所 光市文化センター 1階研修会議室
議事 令和4年度事業計画の変更(案)について
令和4年度収支補正予算(第2回)(案)について
定款第26条第4項に定める理事長及び常務理事の職務執行報告

エ 第2回定時理事会

日時 令和5年3月17日(金) 13時30分～15時30分
場所 光市文化センター 1階研修会議室
議事 令和4年度収支補正予算(第3回)(案)について
令和5年度事業計画(案)について
令和5年度収支予算(案)について
定款第26条第4項に定める理事長及び常務理事の職務執行報告

(2) 評議員会

ア 定時評議員会

日時 令和4年5月26日(木) 13時30分～15時
議事 令和3年度事業報告
令和3年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び
財産目録の承認 評議員及び役員を選任について

(3) 評議員、役員

令和4年5月26日現在

役職名	氏名	役職・所属等
評議員	南 秀 男	光文化協会会長
〃	有 澤 久	光商工会議所副会頭
〃	岡 崎 英 子	学識経験者
〃	吉 本 英 夫	光市副市長
〃	伊 藤 幸 子	光市教育委員会教育長
〃	山 根 伸 幸	光市コミュニティ連絡協議会(島田コミュニティ協議会)
〃	田 中 道 治	光市青少年健全育成市民会議運営委員長
〃	江 藤 弘 康	光市小中学校校長会(附属光小中校長)
〃	見 村 美津子	島田地区婦人会会長
〃	重 歳 昇 明	一般社団法人光青年会議所元理事長
〃	一 倉 輝 男	日鐵ステンレス(株)光製造所総務室長
〃	齋 藤 まゆみ	光市文化財審議会委員
〃	兼 清 健 吾	ミュージックキャラバン代表
〃	藤 本 満 俊	陶芸家
〃	磯 部 昭 彦	光地方史研究会副会長
〃	田 中 孝 雄	光市老人クラブ連合会事務局長
〃	久 原 慶 昭	アラ還フェスティバル実行委員長
〃	松 本 奈津美	ダンス教室主宰
理 事 長	津 村 秀 雄	
理 事	坪 井 玲 子	書家
〃	兼 清 昌 子	光人形劇協議会会長
〃	吉 村 博 子	工芸作家
〃	山 岡 幸 治	光市総務部長
〃	升 克 頼	光市教育委員会教育部長
〃	内 田 浩 子	光ふるさと郷土館館長
〃	松 崎 信 義	光市民ホール館長
〃	佐 伯 肇 一 郎	光市文化センター館長
常 務 理 事	武 居 雅 則	事務局長
監 事	山 本 武 男	税理士
〃	末 延 勇 雄	

※当期中の評議員及び役員の変更

評議員：森本忠寿 → 江藤弘康、畠堀計之 → 田中孝雄、久原慶昭、松本奈津美
理事：小田哲之 → 山岡幸治、芳岡 統 → 升 克頼、原田啓志 → 内田浩子

2 施設の概要

(1) 光市文化センター

所在地 〒743-0011 山口県光市光井九丁目18番2号

電話 0833-72-5800 FAX 0833-72-5715

敷地面積 9,500㎡

建築面積 856.78㎡

延床面積 1,888.42㎡

構造 鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階

駐車場 乗用車106台

主な床面積

企画展示室	204㎡	研修会議室	90㎡
歴史民俗展示室	329㎡	ロビー	155㎡
美術展示室	204㎡	収蔵庫	163㎡

(2) 光市民ホール

所在地 〒743-0063 山口県光市島田四丁目13番15号

電話 0833-72-1441 FAX 0833-71-3555

敷地面積 14,944.070㎡

建築面積 4,151.874㎡

延床面積 5,256.925㎡

構造 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨トラス造 地下1階 地上2階

駐車場 乗用車200台 バス10台

施設のあらまし

大ホール 客席＝固定席886席／車イス席5席
舞台＝間口18m／奥行14m／高さ8m
楽屋＝①19㎡ ②21㎡ ③35㎡ (2階)

小ホール 客席＝固定席326席／車イス席4席
舞台＝間口11m／奥行6m／高さ4.5m
楽屋＝④18㎡ ⑤14㎡ (2階)

ロビー 225.3㎡ (16m×14m)

会議室 中会議室 135.0㎡ (9m×15m)
小会議室① 41.4㎡ (9m×4.6m)
小会議室② 36.0㎡ (9m×4m)

和室 28畳

(3) 光ふるさと郷土館

所在地 〒743-0007 山口県光市室積五丁目6番5号

電話 0833-78-2323 (FAX兼用)

敷地面積 2,744.5㎡

建築面積 763.98㎡

延床面積 943.67㎡

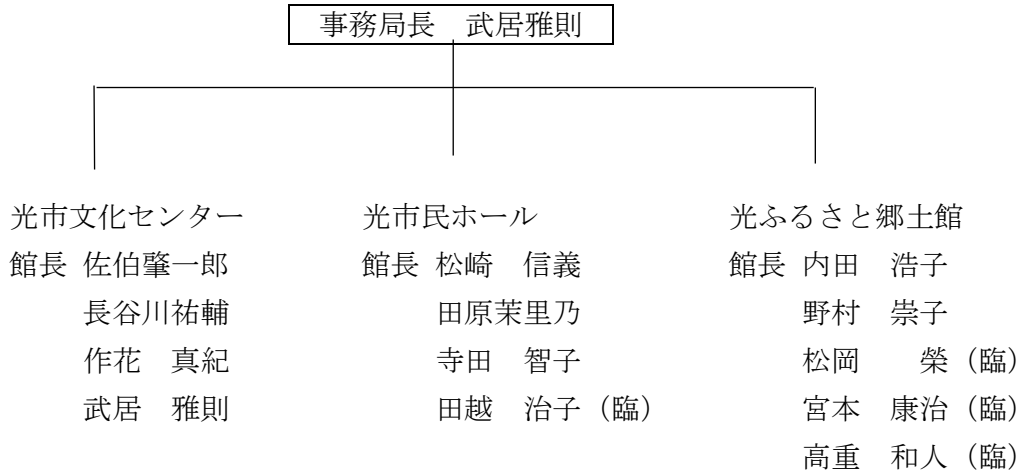
構造 木造平屋一部2階

駐車場 乗用車25台 バス3台

主な床面積

玄関ロビー	40.00㎡
休憩室	22.00㎡
案内所	14.00㎡
帳場	16.50㎡
第2展示室(奥座敷)	36.00㎡
ギャラリー	47.40㎡
醤油製造場	33.30㎡
漁業展示室	16.50㎡
工房	31.50㎡
第6展示室	123.20㎡
その他	383.35㎡

3 事務局の組織及び職員



4 入館者、利用状況

(1) 文化センター

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開館日数	278	257	242	233	279
入館者数	19,347	19,544	10,246	11,759	20,017
平均入館者数	69.6	76.0	42.3	50.5	71.7

(2) 市民ホール

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
大ホール	件数	59	56	27	36	54
	日数	105	98	33	57	98
	入館者数	27,219	36,581	3,392	10,408	19,542
小ホール	件数	110	95	28	95	100
	日数	163	100	32	107	133
	入館者数	14,039	12,968	1,060	4,983	6,182
ロビー	件数	8	6	4	5	3
	日数	70	64	5	15	36
	入館者数	980	790	650	565	540
会議室	件数	186	215	189	155	131
	日数	324	389	199	194	226
	入館者数	3,924	3,485	3,457	2,919	2,826
和室	件数	9	5	4	2	6
	日数	39	34	4	6	27
	入館者数	194	44	47	20	28
合計 (延べ)	件数	372	377	252	293	294
	日数	701	735	273	379	520
	入館者数	46,356	53,868	8,606	18,895	29,118
開館日数		307	306	266	273	306
平均入館者数		151.0	176.0	32.4	69.2	95.2

(3) ふるさと郷土館

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開館日数		286	276	251	242	296
入館者数		5,520	6,293	3,605	3,300	4,802
平均入館者数		19.3	22.8	14.4	13.6	16.2

5 広報紙『虹』の発行

各施設の行事案内やお知らせを中心に、文化情報、資料紹介などを掲載する情報誌『虹』を発行して、情報を発信した。

- (1) 体裁等 A4判 4ページ カラー刷り
- (2) 発行部数 1,700部 (財団友の会会員全員へ送付)
- (3) 発行日 偶数月の1日

事業の概要

1 文化センター

(1) 常設展示

ア 歴史民俗展示室

(ア) 歴史部門

光市の古代から昭和20年代まで

懸山古墳箱式石棺、各遺跡出土品、清水宗治関係資料、八海観音堂大般若経、冠天満宮棟札・金銅十一面観世音菩薩坐像懸仏、光海軍工廠史料、明治からの教科書、玉井喜作、回天一型頭部など

(イ) 民俗部門

農耕用具、水車、平駄船模型、商業交易用具、日常生活用具、薬種用具

イ 美術展示室

第87回常設展 文化センター所蔵「吉田三彦古陶コレクション展」

8月20日(土)～9月21日(水)

第88回常設展 文化センター所蔵「近世・近代の書画展」

11月20日(日)～2月5日(日)

第89回常設展 文化センター所蔵「令和の寄贈品展」

2月18日(土)～4月30日(日)

ウ 自然史展示室

小動物、鳥類、昆虫類の標本 貝類標本 虹ヶ浜の昆虫相 化石標本

エ 1階ロビー

- ・重要無形文化財保持者「山本晃」氏作品5点を入れ替え展示
- ・難波覃庵氏寄贈作品展示(南画) ・松田正平所蔵作品展示(油彩画)
- ・令和4年度光市美術展大賞作品展示(南画)

オ 屋外展示

消防用手押ポンプ、丸型郵便ポスト、旧伊藤博文邸レプリカ

(2) 企画展示

ア 第41回濞美会展

会期 4月8日(金)～4月17日(日)

会場 企画展示室及びロビー

内容 当館で毎週木曜日に実施している絵画教室の会員の作品を展示し、一年間の学習の成果を発表している。会員20人の油彩画、水彩画、デッサン等61点と講師の作品1点を展示した。

入館者 546人

イ レンタルアート展

会期 4月9日(土)～6月26日(日)

会 場 2階展示室及びロビー
入館者 386人
内 容 平成10年からスタートした「絵画貸出事業」で、アマチュアの描いた作品を市民及び市内の事業所等を中心に貸し出しをする事業である。その一環として作品を展示し、本事業の周知と利用促進を図り、生活や仕事の場に彩を与えるとともに、絵画に対する興味・関心を高めていくために実施した。

ウ 光市作家展

会 期 6月11日(土)～6月26日(日)
会 場 企画展示室及びロビー
入館者 789人
内 容 光市在住、もしくは光市に関わりの深い作家で、文化センターにおいていまだ本格的な発表をされていない方々の作品を紹介している。市美術展や県の展覧会の舞台で活躍し、作品や人柄を通して周囲に影響を与えている人たちを紹介することで、多くの市民や美術愛好家はその作家の活動について知ってもらい、造形活動の普及発展につなげることを目的としている。第16回目となる今年度は県展でも活躍している洋画の「西岡康雄」氏と陶芸家の「田村潤子」氏を紹介した。

エ 光市ゆかりの画家展

会 期 7月9日(土)～9月21日(水)
会 場 2階展示室及びロビー
入館者 950人
内 容 文化センターでは、郷土(光市、山口県)にゆかりのある美術作家の作品を長年にわたって収集している。今回の企画展では光市出身及び光市にゆかりのある画家に焦点をあて、光市三大画家の難波覃庵・巖島虹石・宝迫虹汀をはじめ吉崎正巳、松田正平などの作品を中心に展示を行った。この画家展をとおして郷土出身及びゆかりの画家を市民に広く紹介するとともに、絵画に対する興味関心を喚起し、芸術活動への意欲の高揚と底辺の拡大を図った。

オ 第18回 光市美術展(公募展)

会 期 前期:10月25日(火)～10月30日(日)
後期:11月 1日(火)～11月 6日(日)
会 場 全館
入館者 1,834人
内 容 市民等から広く作品を募集し展示することにより、光市の美術の振興を図るとともに、美術の鑑賞を通して市民文化の



向上に寄与することを目的に開催した。

また、大賞受賞作家の更なる活躍と創作支援を目的に大賞受賞作を
買上げ、ロビーに常設で展示することにより顕彰する。

主 催 光市・光市教育委員会・光文化協会・公益財団法人光市文化
振興財団

出品部門 前期：日本画、洋画、彫刻、書、写真

後期：陶芸、金属工芸、染色、木彫、押花絵、和紙ちぎり
絵、切り絵、フラワーアレンジメント、生花、その他

応募総数 300点 入賞点数 33点

カ わが家所蔵の美術品展

会 期 3月4日（土）～3月26日（日）

会 場 企画展示室

入館者 358人

内 容 絵画、版画、彫刻、工芸、レリーフ、掛軸等、家庭にある愛蔵品や
秘蔵品を持ち寄って開催した。市民からの作品41点を展示した。

キ 第15回 文化センター水彩画教室展

会 期 3月30日（木）～4月2日（日）

会 場 企画展示室

入館者 270人

内 容 当館で実施している水彩画教室の会員の作品展。会員22人の作品
62点と講師の作品3点を展示し、これからの学習の励みとした。

(3) 教育普及活動

ア 成人大学講座

光市の生涯学習推進の一翼を担っている
事業であり、歴史、文学などを中心に年間
7講座を開設した。

受講者は延べ275人。

年間受講料1,500円。



No	内 容	講 師	開 催 日	参加者
1	俳諧の巨匠長州に行く ～旅から旅へ五七五～	梅光学院大学	5月21日(土)	42人
		教 授 倉本 昭		
2	私が感じるみずぶさん	金子みずぶ記念館	6月18日(土)	36人
		学芸員 宇野 智香		
3	江戸時代武家社会における乳母 ～萩藩毛利家を中心に～	山口大学	7月16日(土)	34人
		准教授 石田 俊		

4	旧都農宰判及び旧熊毛宰判内の 神社本殿建築について	徳山工業高等専門学校	8月20日(土)	28人
		教授 中川 明子		
5	石城山の歴史遺産	光市教育委員会	9月17日(土)	42人
		学芸員 河原 剛		
6	光市塩田地区の仏教に拘わる遺 跡とそれらの信仰について	光地方史研究会	11月19日(土)	56人
		副会長 高橋 教信		
7	関ヶ原の合戦後の毛利一族	下関市立歴史博物館	12月17日(土)	37人
		学芸員 松田 和也		

イ 絵画教室

昭和56年度から開始した講座で、デッサン、油彩画、水彩画の実技指導を行う。

カリキュラムは静物、風景、人物などを中心に身近なものを素材として様々な作品制作に取り組んだ。

実施日 原則として毎週木曜日
今年度 通算38回実施

会員数 20人(年度末現在)

指導者 河村 純一郎(洋画家 行動美術協会会員)

年会費 12,000円

ウ 水彩画教室

手軽に始めることのできる水彩画を取り上げ、経験にかかわらず絵を描く楽しさを体験し、技能向上を目指す教室で、3月には会員の作品展を開催した。

実施日 原則として第1・3日曜日
今年度 通算23回実施

会員数 28人(年度末現在)

指導者 岡村 毅(創美会会員)

年会費 6,000円

エ 彫塑教室

立体造形に関する基礎的な知識と創造的技能の修得を目的に実施し、市美展などに発表し普及を図った。工芸など立体分野と連動させ発展させるため、人物像の制作などに取り組んだ。

実施日 原則として第2・4土曜日
今年度 通算22回実施

会員数 9人(年度末現在)

代表 下川 正孝(市美展招待作家)

年会費 6,000円

オ 湯呑みづくりの会

講師はボランティアとして指導し、会員が自主的にサークルを形成することによ

って創作活動を進める会であり、湯呑みや茶碗を制作した。

実施日 原則として第1・3水曜日

今年度 通算23回実施

会員数 9人(年度末現在)

指導者 村山 嘉憲(陶芸作家)

カ 夏休み子ども科学教室

夏休みに科学実験や物づくりを通して、科学への興味・関心を高め、子どもたちの科学する心や研究への意欲付けの機会とすることを目的に実施した。ペンのインクの秘密を調べたり、空気の実験したりするなど子どもたちは積極的に取り組んだ。



開催日 7月23日(土)

会場 企画展示室

参加者 小学生20人

キ 夏休み子ども陶芸教室

夏休み期間に陶芸を体験することにより、もの作りの楽しさや喜びを味わってもらうことを目的に実施した。生活雑器をはじめ人形、置物など子どもたちは自由に作品作りを楽しんだ。



開催日 【成型】7月24日(日)

【絵付け】8月6日(土)

会場 企画展示室

参加者 小学生21人

協力者 湯呑みづくりの会

ク ひかり歴史文化探検クイズラリー人物編

光市の貴重な史跡、有形文化財や歴史上の人物を多くの市民に知ってもらうとともに、「光市の歴史文化」編纂後の具体的活用例として実施した。歴史文化探検クイズラリー人物編の具体的内容については、参加者にガイドマップとクイズ帳を配り、クイズラリー形式で文化財、史跡、資料館等の内、指定された32箇所を巡ってもらった。今年度は開催期間を半月程度延ばし、ゆとりをもって廻れるようにした。

期間 7月7日(木)から11月13日(日)

参加者 436人

ケ 絵画貸出事業

この事業は絵画を市民等に貸与し、家庭や公共の場所へ掲げ鑑賞することによって、ゆとりと潤いのある生活を営んでもらうとともに、自らも絵画を描くなど美術への関心が高まることを目的に、平成10年度から実施している。令和4年度もレ

ンタルアート展を開催したことにより、利用人数・貸出点数は増加した。

【利用状況】 延べ利用人数 37人 延べ貸出点数 68点

(4) 施設貸館展覧会

No	名 称	主 催	会 期	日数	入館者数	会場
1	全日本写真連盟光支部写真展	全日本写真連盟光支部	4月21日～ 4月24日	4	383	企画展示室
2	第8回フレンド山口写真展	フレンド山口	4月29日～ 5月 1日	3	501	企画展示室
3	日本教育書初展	日本教育書道会	5月 6日～ 5月 8日	3	588	企画展示室
4	墨水会書作展	墨水会	5月14日～ 5月15日	2	1,030	企画展示室
5	池坊光支部花展	池坊光支部	5月21日～ 5月22日	2	437	企画展示室
6	角本福美個展	角本福美	5月25日～ 5月29日	5	484	研修会議室
7	光市書道連盟展	光市書道連盟	5月27日～ 5月29日	3	468	企画展示室
8	光地方史研究会総会	光地方史研究会	6月26日	1	29	研修会議室
9	光市小学校科学作品展	光市教育委員会	10月 1日	1	682	1階 全館
10	幼児画展	光市立図書館	11月11日～11月13日	3	575	企画展示室
11	深雪アートフラワー展	宝迫一女	11月17日～11月20日	4	858	企画展示室
12	ウィメンズ光書会学生展	ウィメンズ光書会	11月26日～11月27日	2	505	企画展示室
13	光市小中学校美術展	光市教育委員会	12月 3日～12月 4日	2	1,372	1階 全館
14	池坊光支部花展	池坊光支部	12月10日～12月11日	2	354	企画展示室
15	二科会写真部山口支部公募展	二科会写真部	12月15日～12月18日	4	786	企画展示室
16	創美展	創美会	12月21日～12月25日	5	355	企画展示室
17	墨水会書初作品展	墨水会	1月14日～ 1月15日	2	917	1階 全館
18	日本教育書道会書初展	日本教育書道会	1月27日～ 1月29日	3	691	1階 全館
19	古文書歴史講座	光地方史研究会	2月18日	1	15	研修会議室

光市小学校科学作品展



全日本写真連盟光支部写真展



(5) 学校教育への対応

ア 中学校総合的な学習

光市立光井中学校1年生

9月21日(水) 生徒48名

イ 小学校総合的な学習

- 周南市立大河内小学校3年生 10月7日(金) 児童26名
- ウ 小学校総合的な学習
- 光市立島田小学校3年生 10月12日(水) 児童37名
- エ 高等学校歴史学習
- 聖光高等学校3年生 11月10日(木) 生徒23名
- オ 高等学校歴史学習
- 聖光高等学校2年生 11月18日(金) 生徒16名
- カ 高等学校歴史学習
- 聖光高等学校3年生 1月17日(火) 生徒29名
- キ 高等学校歴史学習
- 聖光高等学校3年生 1月18日(水) 生徒38名
- キ 高等学校歴史学習
- 聖光高等学校3年生 1月19日(木) 生徒35名

(6) 資料収集活動

ア 主な収集資料

美術資料	巖島虹石	俳画(掛軸)	1点	寄贈
〃	島田章三	版画	1点	寄贈
〃	津田 耕	版画	1点	寄贈
〃	光市美術展大賞受賞作品(南画)		1点	購入

イ 令和4年度末現在の館蔵資料点数

		購 入	寄 贈	寄 託	その他	合 計		
美 術	絵画 版画	173	318	1	23	515	1,174	14,972
	彫刻 工芸	12	163		95	270		
	書	4	50		40	94		
	写 真		2		68	70		
	資 料	6	202		17	225		
人 文	考 古		18	7	280	305	13,482	
	歴 史	7	4,279	571	420	5,277		
	民 俗	3	7,644	229	24	7,900		
科 学	自然史系	1	230	1	84	316	316	
	科学技術系					0		

注：未整理・未登録の収蔵資料は含まない。

ウ 資料の整理

清水家及び難波家文書の古文書解読作業など調査研究事業を、郷土史家の協力を得て引き続き実施した。

2 光市民ホール

本年度においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大は収まらず、終息の兆しが見えない中、感染拡大防止に重点を置き、徹底した感染防止対策を行い事業を実施した。

また、当ホールは、誰でも利用できる多目的施設であり、不特定多数が集う施設であることから、感染防止対策は当然のことながら、特に施設の安全対策、安全管理に十分配慮し、危険防止と事故防止に最大限の注意を払い運営を行った。

(1) 自主文化事業

第50回市民夏季大学

市民夏季大学は、昭和47年の市民ホール開館以来の恒例行事として、市民の学習ニーズに対応する学習機会を提供するため、各界で活躍している話題性の高い著名人を講師に招き、講師のキャリア、経験や体験談等を直接見聞し、その成果や教訓、幅広い識見からの考え方や含蓄のある人生論等を学ぶ市民教養講座として開催した。

①第1講座

開催日	7月12日(火)	18時30分～
講師	辻井いつ子(ピアニスト辻井伸行の母)	
演題	明るく、楽しく、そしてあきらめない生き方	
受講者数	314人	

②第2講座

開催日	7月20日(水)	18時30分～
講師	山田ルイ53世(お笑い芸人「髭男爵」)	
演題	僕達にはキラキラする義務などない	
受講者数	291人	

③第3講座

開催日	8月10日(水)	18時30分～
講師	齋藤孝(明治大学文学部教授)	
演題	齋藤孝流・コロナに負けない「友だち関係」の作り方	
受講者数	323人	

(2) その他自主文化事業

①第6回ストリートダンスフェスティバル in 光

開催日	4月3日(日) 午前の部11時～ 午後の部15時～	
出演者	40チーム	
入場者	969人	
会場	大ホール	

内 容 中学校保健体育授業でのダンスの必修化に伴い、ストリートダンスを学ぶ児童や生徒が増加したため、その普及啓発とともに、青少年の音楽や表現活動の推進、舞台芸術活動の振興を図る目的で開催した。

②スタインウェイピアノ開放事業

「第14回ピアノマラソン みんなで弾こうスタインウェイ！」

開催日 5月14日(土)・15日(日) 9時～18時

会 場 大ホール

出演者 35組

入場者 136人

内 容 初心者から上級者までの幅広い層を対象に、ピアノに関心のある人が世界を代表するピアノのひとつ「スタインウェイ」に触れる機会をつくり、世界の名器を使用したステージ演奏の体験の場を提供した。

③精華女子高等学校吹奏楽部コンサート

開催日 5月29日(日) 14時～

会 場 光市総合体育館

入場者 725人

内 容 高校吹奏楽部の国内最高峰といわれる精華女子高等学校吹奏楽部(福岡市)を招聘してハイレベルの吹奏楽コンサートを開催した。今回は、光市総合体育館を会場として、マーチングやパーカッションショーを披露した。

④小学校音楽・演劇教室(学校引率)

ソレイユトリオコンサート「音楽とお話して聴く竹取物語」

開催日 6月9日(日) 14時～

会 場 大ホール

入場者 836人

内 容 次代を担う小学生の情操教育の充実及び芸術文化学習の推進を図るため、市内の小学校5・6年生に本物の舞台芸術の鑑賞機会を提供した。本年度は音楽教室として、県内で演奏活動を行っているソレイユトリオを招聘して歌劇風の「竹取物語」を鑑賞した。

⑤光の文化を高める会会員招待公演

「桂かい枝・神田京子二人会」

開催日 6月12日(日) 14時～

会 場 大ホール

入場者 246人

内 容 会員招待公演は、新規会員の確保や現行会員の継続入会(更新)

を促進するため、大衆性のある出演者を招聘し毎年開催している。

今回は県内在住の女流講談師神田京子と落語家桂かい枝を招いて、二人会を開催した。

⑥財津和夫 トークと歌のプレゼント

開催日 8月7日(日) 16時～

会場 大ホール

入場者 618人

内容 本来は令和2年2月に開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止により11月に延期、令和3年11月に再延期、そして今回に再々延期し実施した公演である。

現在も楽曲提供やアーティスト・プロデュースなど幅広く活躍中の財津和夫を招いてのトークショー&ミニコンサートを開催した。

⑦朗読劇「青空」

開催日 8月20日(土) 18時30分～

会場 大ホール

入場者 165人

内容 テレビ、映画、舞台等で活躍中の4人のキャスト(飯島直子、前島亜美、村田雄浩、モロ師岡)が演じる朗読劇を開催した。

⑧古典芸能公演

落語教育委員会

開催日 9月4日(日) 14時～

会場 小ホール

入場者 183人

内容 人気落語家(三遊亭歌武蔵、柳家喬太郎、三遊亭兼好)を招いての三人会「落語教育委員会」を市内の落語愛好グループがんだき亭との共催で開催した。

⑨第35回市民コンサート

開催日 9月11日(日) 13時～

会場 大ホール

出演者 14組

入場者 650人

内容 音楽を愛する個人や団体が一堂に会して、日ごろの活動や練習の成果を発表することにより、互いの技量の向上を図るとともに、市民に優れた音楽の鑑賞機会を提供した。出演する児童・生徒には、今後の活躍と飛躍を期す機会として毎年開催しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3年ぶりの開催となった。

⑩アートキャラバン事業「元気やまぐち創造プロジェクト」

田村響ピアノリサイタル&室内楽アンサンブル

開催日 10月4日(火) 19時～

会場 大ホール

入場者 85人

内容 県内の公立文化施設と国内トップクラスの演奏家が協働し、コロナ禍により元気を失いつつある文化芸術活動の再興に向けた取り組みとして県内9施設が協働館として参加し、各館でコンサートを開催した。

⑪フォークコンサート“元気です”2022

開催日 10月16日(日) 15時～

会場 大ホール

入場者 416人

内容 井上陽水、吉田拓郎、かぐや姫の楽曲を中心に、県内各地で演奏活動を行っている音楽グループ「クロスリバー」との共催でフォークコンサートを開催した。

⑫第35回うたごえ喫茶

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

開催予定日 10月30日(日)

⑬岡坂弘毅故郷コンサート

オペラ「アマールと夜の訪問者」

開催日 12月24日(土) 14時～

会場 大ホール

入場者 200人

内容 光市出身のオペラ歌手、岡坂弘毅の故郷コンサートを開催した。本公演は、「オペラを身近に感じてほしい」との想いで開催しているもので、岡坂氏が率いる劇団「ボッカ・デル・モンテ」との共催で開催した。

⑭優秀映画鑑賞会

第6回光市民ホール名画劇場

開催日 2月4日(土)・5日(日) 10時～

会場 小ホール

入場者 111人

内容 優れた映画の鑑賞機会を提供するため、文化庁及び国立映画アーカイブにより実施される優秀映画鑑賞推進事業を誘致し、広く市民を対象にした廉価な入場料による映画鑑賞会を開催した。

本年度は、風俗喜劇に重喜劇、ユーモアあふれるコメディ、さま

ざまな笑いで見るものを楽しませてきた喜劇映画の中から「本日休診」「幕末太陽傳」「貸間あり」「喜劇 女は男のふるさとヨ」の4作品を上映した。

⑮第8回アラ還フェスティバル

開催日 3月5日(日) 13時～

会場 大ホール

入場者 504人

内容 市内及び近隣地域において、概ね還暦(60歳)前後で構成する音楽愛好家グループによる演奏会を開催した。市民レベルの文化活動の振興、音楽活動の推進、市民文化の向上を図ることを目的に毎年開催しており、今回は10バンドが出演した。

(3) 施設貸館事業(主な貸館内容)

①諸団体による芸術文化活動

- ・ひかり太鼓45周年記念ライブ 4月10日(日)
- ・光風流吟道大会 4月17日(日)
- ・NO BORDERダンス発表会 4月23日(土)
- ・全国吟詠コンクール山口県大会 5月22日(日)
- ・島田人形浄瑠璃芝居保存会奉納上演 7月31日(日)
- ・FRIENDS キッズダンス発表会 8月27日(土)
- ・メンズコーラル光コンサート 11月27日(日)
- ・県吹奏楽連盟ソロ・アンサンブルコンテスト 12月18日(日)
- ・光柳井地区吹奏楽連盟新人演奏会 2月11日(土)
- ・なぎさ復活コンサート 2月26日(日)
- ・山口県吟剣詩舞道大会 3月19日(日)
- ・NO BORDERダンス発表会 3月25日(土)
- ・J.FELLOW ダンス発表会 3月26日(日)

②学校等の文化活動

- ・室積小学校合奏発表会 7月 9日(土)
- ・附属光小学校合奏発表会 7月 9日(土)
- ・附中祭 9月21日(木)
- ・浅江中学校合唱コンクール 10月28日(金)
- ・島田中画工合唱コンクール 11月 1日(火)
- ・附属光小中コンサート 11月26日(土)
- ・虹ヶ丘幼児学園キッズフェスタ 12月17日(土)
- ・光高校卒業研究発表会 1月20日(金)
- ・光高校吹奏楽部定期演奏会 3月12日(日)

③光市文化祭・芸能祭

・創作舞踊	9月25日(日)
・歌謡	10月9日(日)
・邦楽	10月23日(日)
・吟剣詩舞	11月6日(日)
・合唱	11月13日(日)
・吹奏楽	11月20日(日)
・ピアノ	12月4日(日)

④その他(光市、光市教育委員会の事業)

・光市成人のつどい	5月4日(日)
・光市「雇用の日」メッセージフェア	5月27日(金)
・光市青少年健全育成推進大会	6月3日(金)
・山口県小中学校事務職員研究大会	7月29日(金)
・光市人権教育研修会	8月4日(木)
・光市教育フォーラム	8月19日(金)
・光まつり	10月2日(日)
・中四国小学校体育研究大会	11月11日(金)
・光市認知症予防講演会	11月24日(木)
・光市人権を考えるつどい	12月10日(土)
・光市消防出初式	1月7日(土)
・光市はたちの集い	1月8日(日)
・光市女性のつどい	1月14日(土)
・光市スポーツ優秀者表彰式	2月16日(木)
・光市青少年健全育成推進大会	2月18日(土)

3 光ふるさと郷土館

港町室積の商家の建物を活かし、室積地区を中心としたふるさとの歴史や文化の発掘、資料の収集・展示を行い、それを観光資源として活用するとともに、地域文化の学び・創造・発表の場として、今の時代に沿った展示内容にすべく、工夫を凝らし事業を展開した。

また、国からの行動制限が緩和され、人の集まる期会が増えてきた中、新型コロナウイルス感染症予防対策を継続し、入館者数は昨年度より増加した。

(1) 常設展示

ア 商家の帳場

醤油の醸造及び販売をしていた商家「磯民」の帳場を再現し、帳簿類、金箱、帳場格子、金庫、箱階段、版木、賞状などをジオラマ展示

イ 醤油醸造資料展示室

麹室、煙突などの醤油醸造施設と升、樽、桶などをジオラマ展示

ウ 廻船と漁業資料

港町と漁業で繁栄したかつての室積の姿を伝える資料を展示

廻船資料：弁財船模型、船箆笥、鑑札、船絵馬、遠眼鏡など

廻船業資料：引札、売買仕切書、往來手形、尼崎汽船の切符など

菽藩撫育方会所資料：金箱、提灯箱、鬼瓦など

漁業資料：打瀬船模型、鰯網船模型、伝馬船、箱眼鏡、延縄など

室積台場関連資料：大砲の台座

早長八幡宮祭礼資料：山車、提灯、法被、山車写真など

エ 海商通りの鬼瓦

オ 種田山頭火と室積

カ 重光兵三郎のひねり人形

キ 磯部家（元別館）の歴史

(2) 企画事業

ア 秋の夜長と邦楽の夕べ

開催日時 9月17日（土） 19:00～20:30

入館者 73人

内容 開館当初から開催している邦楽の演奏会で、3年ぶりの開催となった。コロナによる影響と台風14号の接近の為準備と集客に不安があったが、邦楽の演奏といけばなの展示を楽しもうとお年寄りから小学生まで幅広い年齢層が集まった。



イ Christmas音楽会in醤油蔵2022

開催日時 12月4日(日) 14:00~15:30

入館者 102人

内容 全員室積出身の4人組ロックバンド「RED LIST」の演奏を楽しんでいただいた。来館者はシニア層が多く「懐かしい曲で元気をもらった。」「若いころを思い出して楽しかった。」と満足度は高く、大変好評であった。

(3) ギャラリー展示

計3,615人

No	タイトル	展示者	期間	入館者(人)
1	二人の視点(写真展)	宮原博美・宮原洋子	5月3日(火) ~5月15日(日)	892
2	パッチワーク展 ~母の手のぬくもり~	わがま工房我楽路 (小田敏子)	6月8日(水) ~6月19日(日)	273
3	五感で感じる郷土の夏	郷土館自主企画	7月16日(土) ~8月31日(水)	398
4	室積秋まつり展	光市室積山車保存会	10月1日(土) ~10月9日(日)	(163)
5	海からの贈り物	小田真弓	10月1日(土) ~10月15日(土)	204
6	書に集う仲間たち	坪井玲城 他	11月3日(木) ~11月20日(日)	296
7	虹雪書心会 第四回楽書展	虹雪書心会	12月1日(木) ~12月10日(土)	290
8	郷土館のひなまつり 日本の節句	郷土館自主企画	2月4日(土) ~3月12日(日)	1,262

※No.4はNo.5と開催期間が被っているので入館者数にはカウントしていない。

(4) 教育普及活動

ア 体験教室

(ア) 空飛ぶおもちゃを作ろう

開催日時 5月5日(祝・木) 9:30~11:30 13:30~15:30

技術指導 ネイチャーゲームリーダー原田啓志

参加者 11組(大人12人、子ども15人)

(イ) 竹プランター作り

開催日時 5月22日(日) 9:00~12:00 13:00~16:00

技術指導 郷土館職員

参加者 8人

(ウ) 古着で作るはがき掛教室

開催日時 6月19日(日) 9:00~12:00 13:00~16:00

講師 吉村博子

参加者 11人

(エ) 親子で作る竹細工教室

開催日時 7月17日(日)

9:30~11:30 13:30~15:30

技術指導 郷土館職員

参加者 13組

(大人15人、子ども13人)



(オ) 藍の生葉染めワークショップ

開催日時 7月31日(日) 9:30~11:30

技術指導 坂本美穂

参加者 4人



(カ) 親子でつくる水鉄砲・竹とんぼ

開催日時 8月13日(土)・14日(日)

両日とも 10:00~11:30 13:30~15:00

技術指導 郷土館職員

参加者 28組(大人27人、子ども28人)

(キ) 電子工作教室「オルゴールを作ろう」

開催日時 9月11日(日) 10:00~12:00 13:30~15:30

技術指導 田原武司

参加者 9組(大人11人、子ども9人)

(ク) 竹で作る干支「卯」

開催日時 11月27日(日) 9:30~11:30 13:30~15:30

技術指導 郷土館職員

参加者 11人

(ケ) ミニ門松作り

開催日時 12月18日(日) 10:00~11:00 11:00~12:00

13:00~14:00 14:00~15:00

技術指導 郷土館職員

参加者 21人

イ 歴史講座

(ア) 第19回歴史講座

「萩藩財政と撫育制度」

開催日時 10月2日(日) 10:00~12:00

講師 植村芳弘(光地方史研究会顧問)



参加者 22人

(イ) 第20回歴史講座

古文書入門講座「刀狩令・人掃令・伴天連追放令」

開催日時 10月23日(日) 10:00~12:00

講師 上村 正(光地方史研究会会長)

参加者 20人

ウ 古文書教室

開催日時 毎月第2火曜日 10:00~12:00

会員数 16人

内容 地元に残っている古文書の解読・研究等

エ 保育園、小中学生の総合学習や生活科・理科・社会科見学への対応

保育園 1園 21人

光市内小学校12校 595人

光市内中学校 1校 47人

合計 663人



(5) イベント等の開催

ア 郷土館端午の節句

開催期間 4月16日(土)~5月5日(祝・木)

内容 休憩室に五月人形、鎧、兜などを展示し、中庭に鯉のぼりを泳がせた。

イ 普賢まつりの開館時間延長と入館無料

開催日時 5月14日(土) 19時まで延長

5月15日(日) 17時

ウ ホホジロザメの口蓋骨展示(山口県漁業協同組合光支店から借用)

展示期間 7月16日(土)~8月31日(水)

内容 平成11年に捕獲されたホホジロザメの口蓋骨に併せて、同じ大きさの模型を制作し、電飾で深海をイメージさせ迫力のある展示を行った。また、捕獲当時の映像を映し出し、サメの生態について解説した。



エ 早長八幡宮秋まつり開館時間延長と入館無料(中止)

開催日時 10月9日(日) 19時まで延長

※山車巡行の中止に伴い実施しなかった。

オ 生花ミニ展示

展示期間 5月14日(土) 15日(日) (普賢まつり)

9月17日（土）（秋の夜長と邦楽の夕べ）

カ 郷土館のひなまつり

開催期間 2月4日（土）～3月12日（日）

内 容 明治から昭和時代のひな人形を時代ごとに特徴を紹介。また、子どもに着物を着せ写真撮影を楽しめる撮影スポットを作るなどして、幅広い年齢層に楽しんでもらえた。



(6) 資料収集

ア 収集資料

民俗資料 福富 肇 杵崎神社奉納相撲盾 1点 寄贈

イ 令和4年度末現在の館蔵資料点数

		購入	寄贈	寄託	その他	合 計	
美術	絵画・版画・切り絵		13			13	287
	彫刻・工芸		4			4	
	書		1			1	
	資料		1			1	
人文	歴史	1	18	4	2	25	256
	民俗	1	164	16	50	231	
科学	自然史系		2			2	2
その他			6		4	10	10

注：未整理未登録の収蔵資料は含まない。

(7) 利用状況

入館者数 4,802人

施設利用（貸部屋）なし

事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する事業報告の附属明細書に記載する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。